

弁理士試験の実施状況

平成29年3月24日

**1. 平成28年度弁理士試験
(試験制度改革に関する結果)**

**2. 平成28年度弁理士試験
(志願者・合格者に関する集計)**

弁理士試験制度の改正概要

①科目別合格基準の導入(短答式筆記試験) <平成28年度試験において実施>

現行の出題数・比率を維持した上で、「特許法＋実用新案法／意匠法／商標法／条約／著作権法＋不競法」に分けて、合格基準(各科目の満点の40%以上で、工業所有権審議会が相当と認めるもの)を設定。

②選択問題の集約(論文式筆記試験選択科目) <平成28年度試験において実施>

短答式筆記試験においても考査している「著作権法」及び「不正競争防止法」については、他の選択問題との公平性の観点から、廃止。次に、各科目の基礎的な分野を選定し、選択問題の集約を図ることとした。

③条約の知識が担保されるような試験実施(論文式筆記試験必須科目) <例年どおり実施>

平成19年度以降、少なくとも小問レベルでは条約に関する出題が毎年なされており、条約に関する学習を促す効果が期待できる状況である。今後の試験実施においてもこの点を留意しつつ、具体的な出題については、工業所有権審議会(試験部会)で検討。

1. 平成28年度弁理士試験
(試験制度改正に関する結果)

2. 平成28年度弁理士試験
(志願者・合格者に関する集計)

平成28年度弁理士試験の結果概要

平成28年度は、志願者数4,679人に対し、合格者数は296人(合格率は7.0%)。

試験結果概要

1. 志願者数	4,679 人	(前年度 5,340 人)	
2. 受験者数	4,211 人	(前年度 4,798 人)	
3. 受験率	90.0 %	(前年度 89.9 %)	※受験者数／志願者数
4. 合格者数	296 人	(前年度 319 人)	
5. 合格率	7.0 %	(前年度 6.6 %)	※合格者数／受験者数
6. 合格者平均受験回数	4.4 回	(前年度 4.5 回)	

合格者の内訳

※受験願書受付時の情報に基づいて作成

○年齢別

20代:17.6 %、30代:52.4 %、40代:19.9 %、50代:9.8 %、60代:0.3 %

平均年齢:37.2歳(最年少:22歳、最年長:60歳)

○職業別

会社員:53.4 %、特許事務所:29.7 %、無職:7.4 %、公務員:4.1 %、

学生:0.7 %、自営業:1.7 %、法律事務所:0.7 %、その他:2.4 %

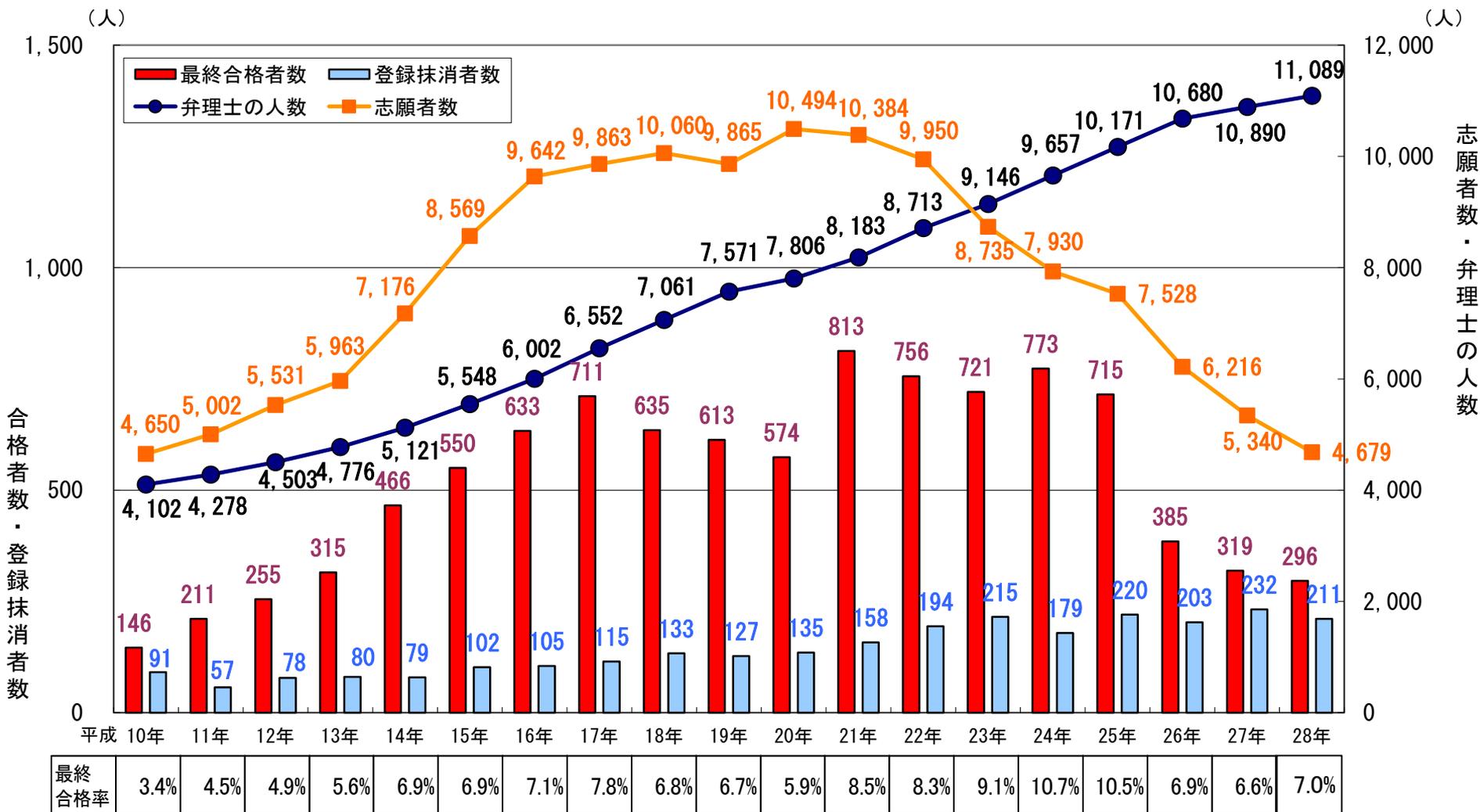
○男女別

男性:80.7 %、女性:19.3 %

○出身校系統別

理工系:86.5 %、法文系:10.1 %、その他:3.4 %

弁理士の人数・志願者・合格者推移

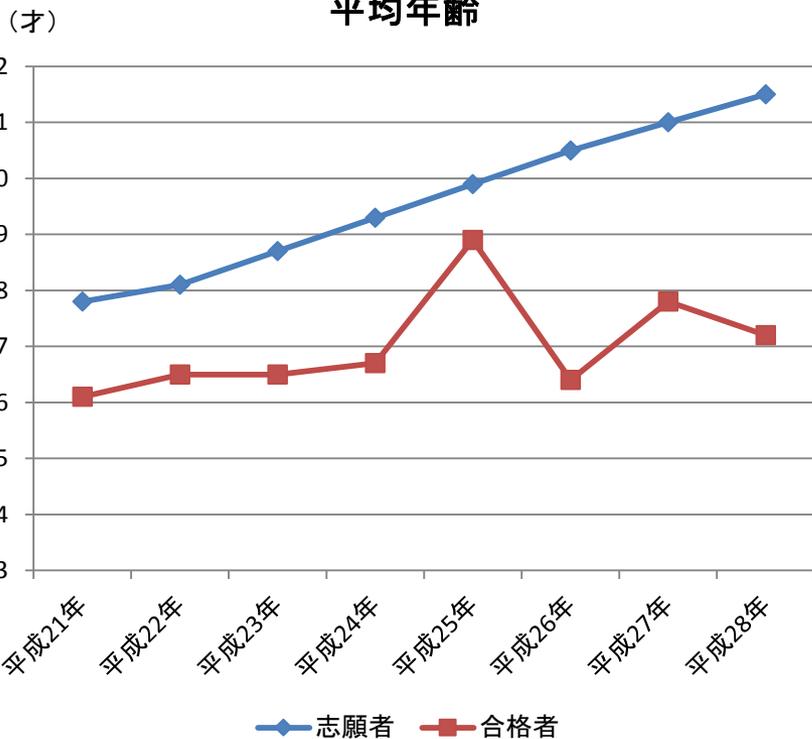


(出典) 事務局作成

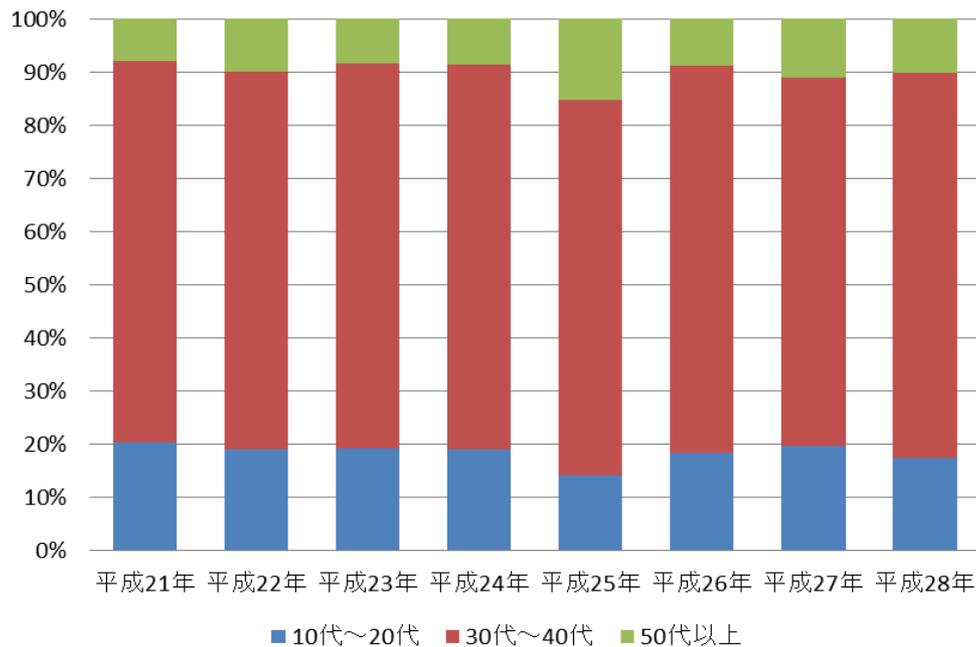
※各年とも12月末時点

志願者・合格者の平均年齢、合格者の年齢別内訳の推移

平均年齢

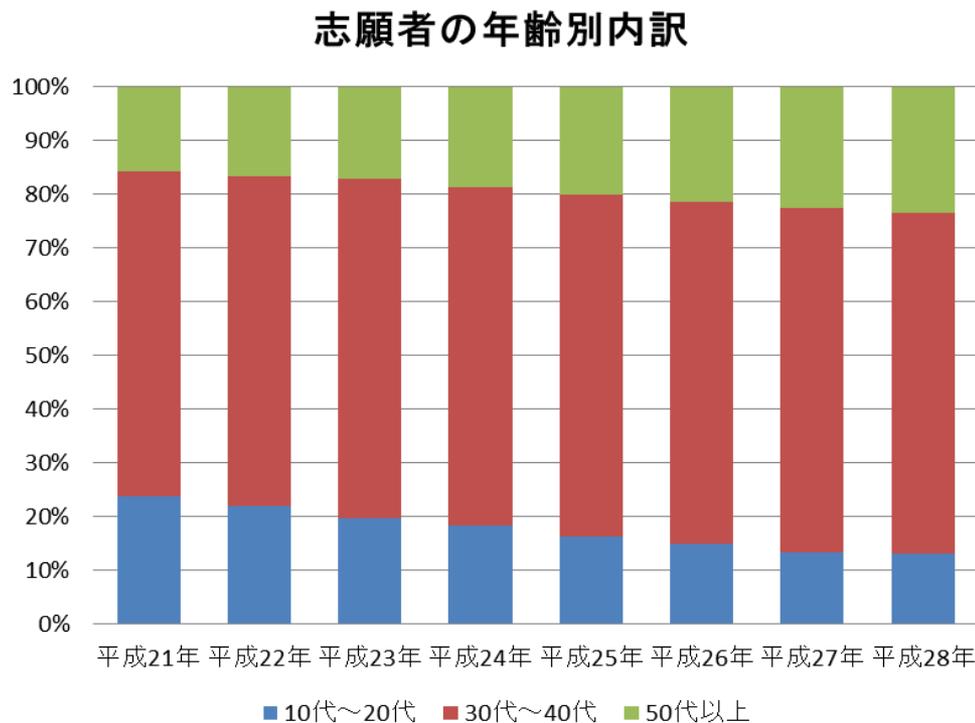
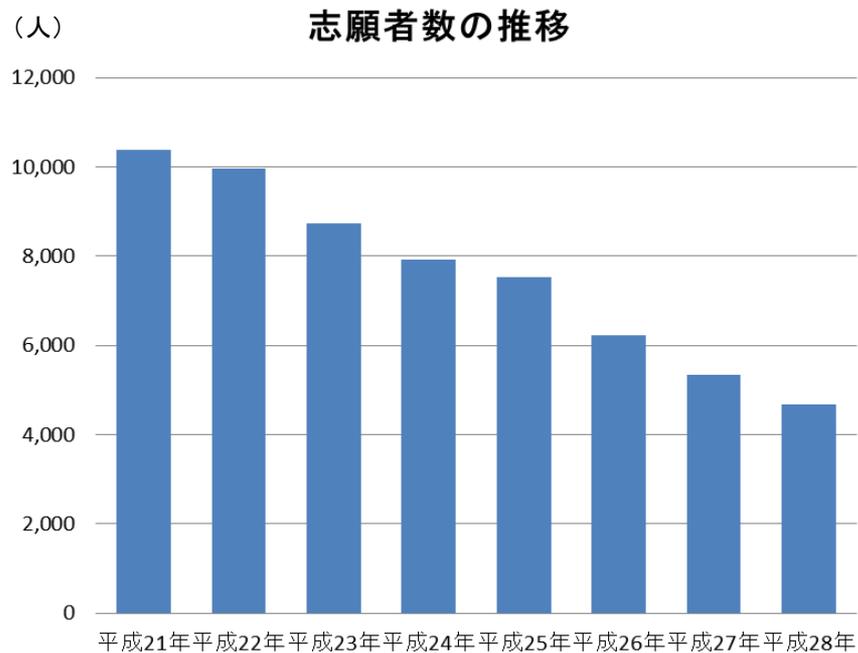


合格者の年齢別内訳



(出典) 事務局作成

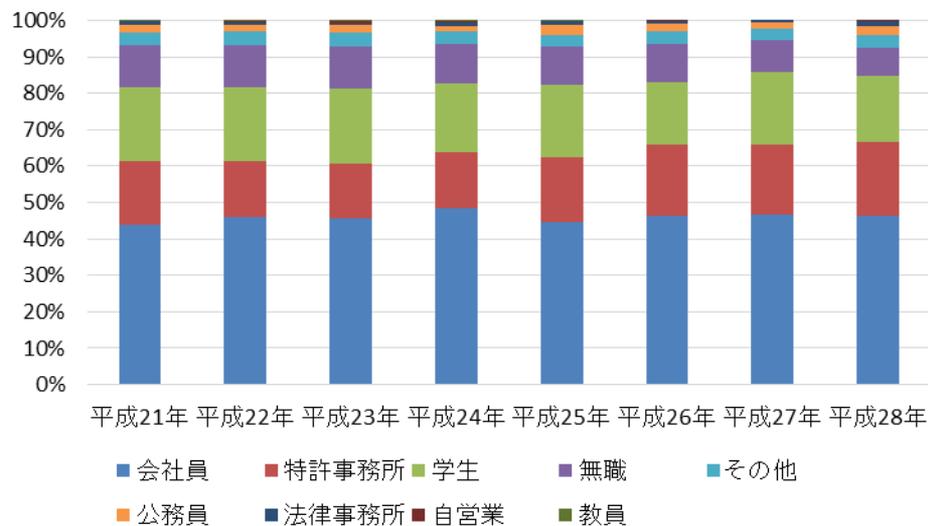
(参考) 志願者数、年齢別内訳の推移



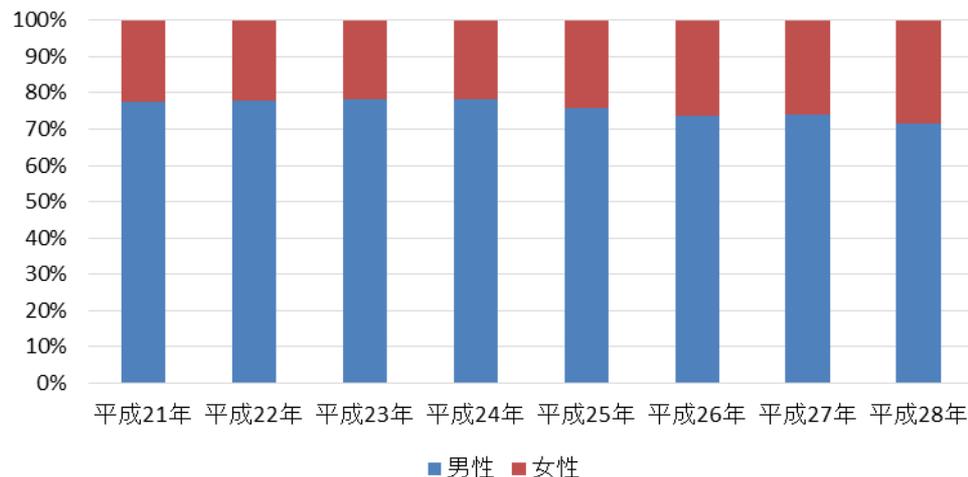
(出典) 事務局作成

(参考)10代～20代志願者の職種別割合、男女別割合

10代～20代志願者の職種別割合

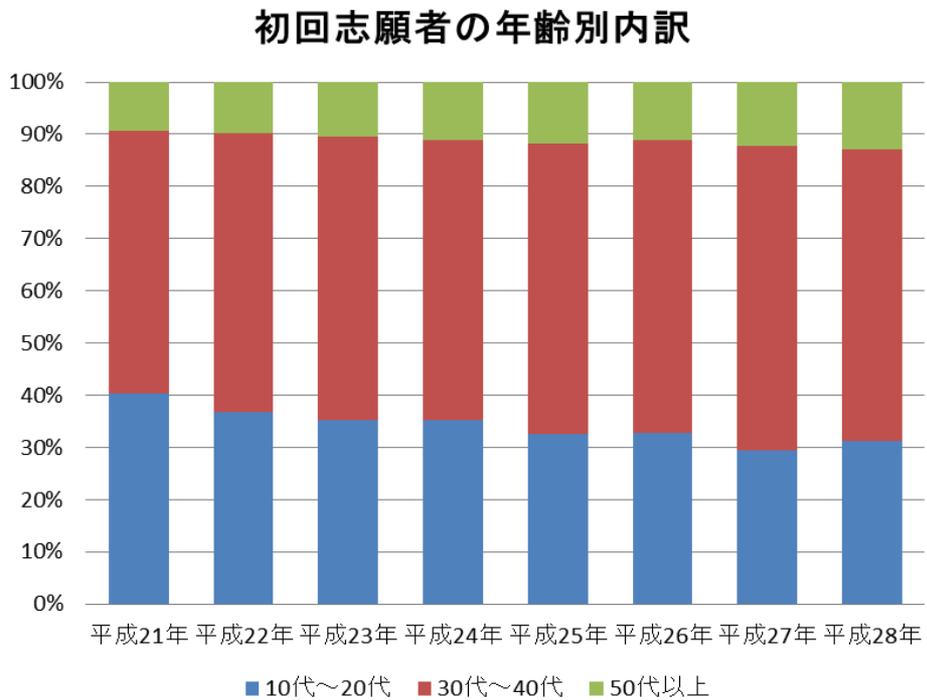
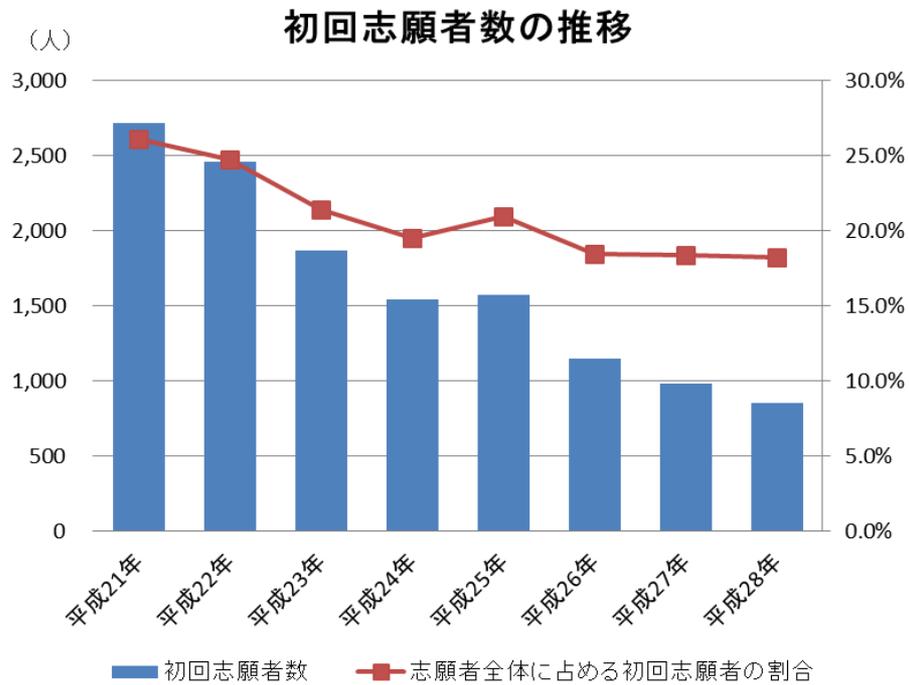


10代～20代志願者の男女別割合



(出典) 事務局作成

(参考)初回志願者数、年齢別内訳の推移



(出典) 事務局作成